

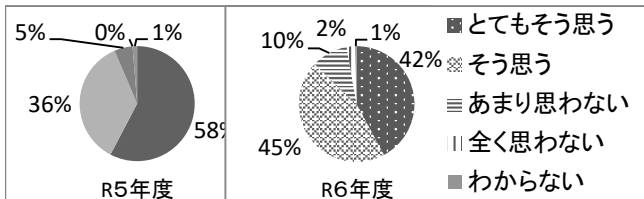
令和6年度 学校教育に関するアンケート結果

令和7年2月25日
西東京市立本町小学校
校長 高橋 浩一

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。「学校教育に関するアンケート」の集計及び分析をいたしましたので、ご報告いたします。お寄せいただきました回答は、「学校評価」や「授業改善推進プラン」等の資料として活用し、来年度の教育活動に反映させてまいります。今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

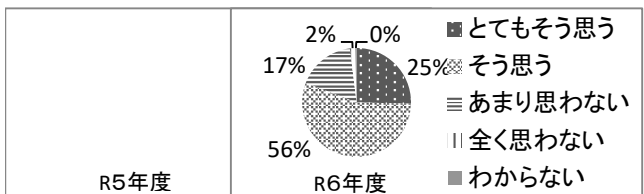
<児童の様子>

【質問1】 お子さんは楽しく学校に通っていますか。



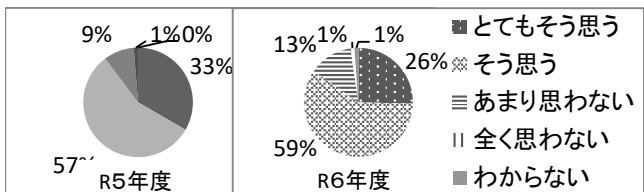
【肯定87%】本校では、1学期のGWまでの期間、教員も中休みに外に出て児童と一緒に遊んだり、夏休み明けにはスタートアップ期間を設けてゆるやかにスタートしたりすることで、児童理解を深め、安心して学校生活が送れるよう取り組んでいます。また、「西東京あつたか先生」の理念にのっとり、丁寧で温かな言葉掛けを心掛けています。更に、毎学期、児童全員と面談する取組を行っています。これらの取組を通して、児童との信頼関係を築くよう努めてきました。また、昨年度代表委員が保谷中の生徒会と会議を行い、正式に命名された「ふれあい開放」（中学校の校庭でも遊ぶ機会）も月1回程度設けており、卒業生と言葉を交わす様子も見られています。来年度も「児童にとって明るく、楽しく、安心できる学校」を目指し、工夫改善を図っていきます。

【質問2】 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいますか。



【肯定81%】意欲的に学習に取り組むためには、基礎的な学力と主体的な学びの姿勢が大切です。また、これからの時代を生きる児童たちにとって、思考力・判断力・表現力の育成は欠かせないものとなっています。そこで、本校では「自分の考えをもち、他者と学び合える児童の育成～ファシリテーションを活用した指導の工夫を通して～」を研究主題とし、授業研究を行っています。また、昨年度に継続して「道徳交換授業」も実施し、担任だけではなく多くの教員の目で児童の様子をみとり、安心して学習できるよう配慮しました。来年度も児童がより意欲的に学習に取り組めるよう授業改善を行い、児童が安心して学び合える学校にしていきます。

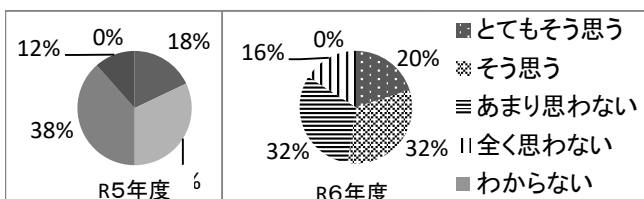
【質問3】 お子さんは基礎的な学習内容を理解していますか。



【肯定85%】一人一人の学習状況やつまづきを把握し、基礎的な学習内容が確実に身に付けられるよう個別最適化した授業を意識し、日々指導方法の改善を図っています。年に2回、東京ベーシックドリルを活用して習熟状況を診断し、補習に取り組んでいます。また、当該学年の学習内容の確実な習得を目指し、低学年は毎月、中・高学年は隔月で放課後に「ステップアップタイム」を設定したり、中学年を対象にマンツーマン指導で基礎力向上を図る「本町っ子タイム」を実施したりしました。来年度も、基礎的な学習内容を身に付けられる取組を継続していきます。

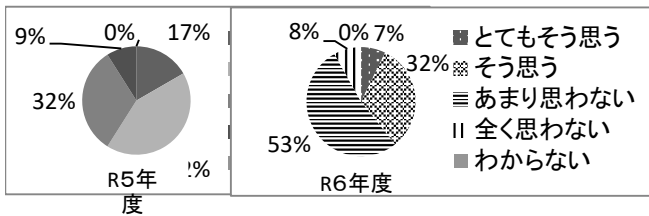
<ご家庭へのアンケート>

【質問4】 お子さんは、本を読んでいますか。



【肯定52%】児童の読書量が少ないことは、本校の抱える課題です。昨年度に引き続き「家読の宿題」、「読書旬間の図書委員会児童による読み聞かせ・ブックトーク」、「図書パックの活用」などを行い、読書を促してきました。また、6年生は小中連携の取組の一環で保谷中学校に出向き、ビブリオバトルの参観機会を設けました。これらの取組に合わせて、今年度は、3年生以上の学年で「読書感想文の書き方指導」を実施したり、5・6年生で「図書館を使った調べる学習コンクール」に向けた指導を実施したりするなど、児童が課題意識をもって読書活動に取り組む学習を行ってきました。しかし、肯定が52%という結果から、児童が家庭生活の中で読書していないことがうかがえるので、今後も児童がより本に親しむ機会が増えるよう環境を整備していきます。

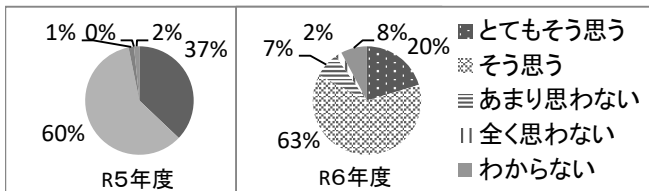
【質問5】 お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できていますか。



【肯定39%】本町小学校の児童は、テレビやゲーム、ネット等への依存傾向があることが、保護者アンケート結果に顕著に表れています。児童への意識調査でも同様の傾向が見られました。学校では、今年度もタブレットのルールやSNSとの関わり方について、発達段階に応じて指導してきました。現代を生きる子供たちの生活と、メディアやSNSとの関わりは切り離せない時代になっています。テレビやゲーム等との根本的な関わり方の改善には、ご家庭の協力が不可欠です。お子さんの健やかな成長のため、学校と家庭で共通の課題意識をもち取り組んでいきたいと考えます。

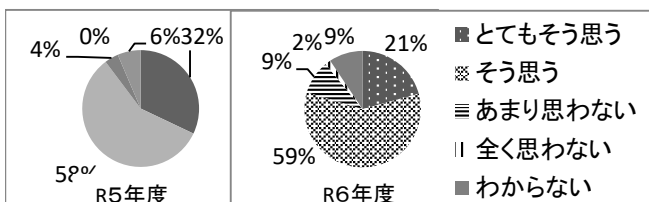
<学習指導・生活指導>

【質問6】 学校は、授業の工夫など、学力向上に努めていると思われますか。



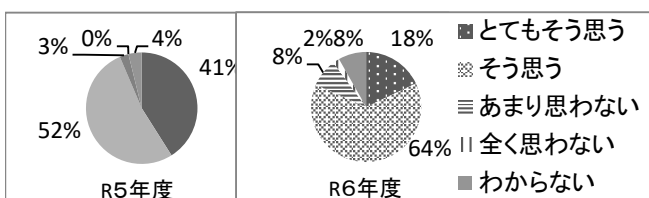
【肯定83%】4・6年生を対象に外部講師を招いてプログラミングの授業を行ったり、コミュニティースクールとしてコーディネーターの方と連携して地域人材を活用したゲストティーチャーによる専門性の高い学習の場を設けたりしました。他にも「西東京ふるさと探求学習」として柳沢商店街と連携した学習を行うなど、児童の主体性を引き出す工夫を心掛けています。また、3・4年生を対象に、基礎・基本の定着を目指して、児童一人に教員がマンツーマンでつく形で年間15回学習する本町っ子タイムや、各学年の補習を行う放課後ステップアップタイムも行い、学習内容を補完しています。来年度も引き続き、学力向上が図れるよう授業改善に努めます。

【質問7】 学校は、礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいると思われますか。



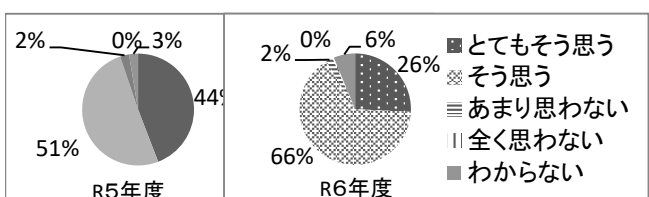
【肯定80%】R3年度から「朝のあいさつ運動」を代表委員と高学年を中心に始め、今年度も全学年でひと月ずつ分担してあいさつ運動を実施しました。地域の方からも「本町小の児童の挨拶がよくなりました。」と褒めていただくことも増え、児童の中にも本町小学校のよさとして「気持ちのよいあいさつ」が定着しています。今後は日常でのあいさつに目を向けさせ、世話人の方や他校からの来校者など、普段接する機会が少ない人に対しても自分から気持ちのよいあいさつができる児童の育成に努めていきます。

【質問8】 学校は、健康・安全に対する生活指導が適切に行われていますか。



【肯定82%】毎月1回安全指導朝会を実施して、安全に対する注意喚起を行っています。また、毎学期1回、下校時に教員と一緒に通学路を歩き、危険箇所について職員間で共有しています。学区域には大きな道路に面している通学路もあります。歩道の歩行に課題のある児童の様子も見られていますので、今後も交通事故防止のための指導を続けていきます。健康についても、手洗いや季節に合わせた服装について適宜指導を行っておりますが、ハンカチを持っていない児童が多いです。ご家庭でも、安全な登下校やハンカチ持参について話題にしてみてください。

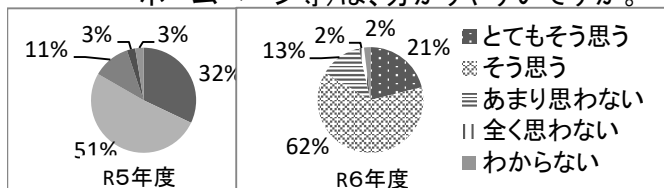
【質問9】 学校は、震災や火災に備えての訓練を実践的に行っていますか。



【肯定92%】避難訓練は、いつどこで被災するかわからない状況でも対応する力が身に付くよう、授業時間内だけでなく、休み時間や朝の時間などにも行っています。二次災害を想定して保谷中学校への避難訓練も実施し、万が一に備えています。児童対象のアンケートでも96%の児童が「訓練に真剣に参加できている」と答えていることから、意識の高さが伺えます。また今年度は、土曜公開日に避難所開設訓練を実施し、発災時の初動対応の課題を明確にしました。令和7年度はより多くの方に参加頂けるよう、土曜公開の授業を3時間目までとし、4時間目に避難所開設訓練を実施します。

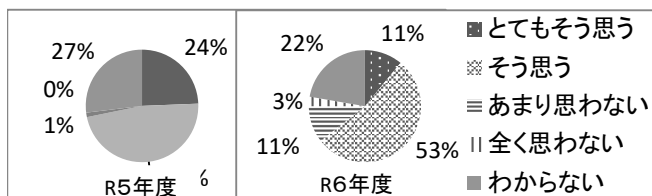
<教育方針>

【質問10】 学校からの情報伝達(学校だより・学年だより・保健だより・給食だより・図書館だより・ホームページ等)は、分かりやすいですか。



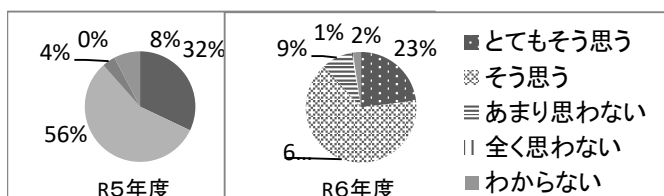
【肯定83%】本校の学校経営方針については、学校便り、HP、4月の保護者会等でもお伝えして参りました。さらに、行事の際に頂いたご意見に対しても、学校便りを通じて本校の方針を可能な限りお伝えしました。また、学校での様子を少しでも理解していただけるようほぼ毎日ホームページを更新し、どのような学校づくりを目指し、どのような教育活動が行われているかお伝えして参りました。今後も継続していきますので是非ご覧いただき、本町小の教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

【質問11】 学校は、道徳授業や学校生活全般において、いじめをなくすよう努力していると思われませんか。



【肯定64%】学期に1回いじめアンケートによる聞き取りを行ったり、スクールカウンセラーによる全児童面接を行ったり、学期の始めに担任と児童との面談を行ったりすることで、いじめの早期発見に努めると共に、安心して登校できるよう配慮しています。また、道徳交換授業を行うことも、複数の目で児童を見守り、さいい変化にも気付くことにつなげています。しかし、肯定64%という数値から、いじめが解決されていないと考えているご家庭があると分かりましたので、来年度も引き続き一人一人の声を受け止める取組を行い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、未解決ゼロに努めます。

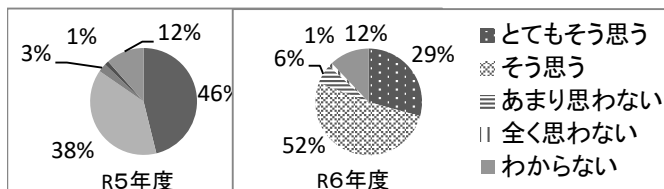
【質問12】 学校は、保護者会・個人面談・授業公開・学校行事等、保護者との交流の機会を設け、開かれた学校づくりに取り組んでいると思われませんか。



【肯定88%】今年度からコミュニティスクールとなりました。保谷中学校とも連携しながら、開かれた学校の理念をもち、よりよい学校教育を目指し活動しています。コーディネーターの方と打ち合わせをし、外部機関や地域人材と連携した授業をさまざまな学年で行っています。また、予定されていた行事に関しては、全て実施ができました。10月に実施した「本町小スポーツの日」では、生き生きとした子供たちの様子を見ていただけたかと思います。11月には「音楽会」を行いました。コロナ禍以降初めて全学年の参観が可能な形で実施ができました。多くの保護者の方々・地域の方々にご参観いただきました。保護者会や個人面談など、さまざまな場面で保護者の皆様にはご理解、ご協力いただきました。ありがとうございました。

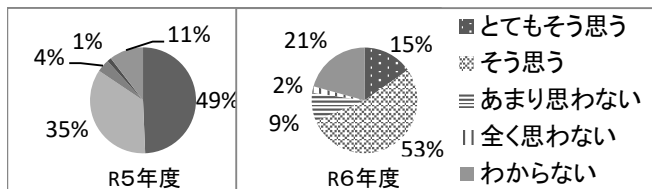
<地域・保護者との連携・開かれた学校づくり>

【質問13】 学校は、お子さんや保護者が相談したときに、誠実に応じてくれていると思いますか。



【肯定81%】児童の健やかな成長について、学校と保護者の両者が協力し合うことで大きな教育効果が得られ、児童の安心につながると考えます。今後も児童や保護者の悩み・相談にしっかりと耳を傾け、積極的に応じる学校を目指しているということを保護者会や学校便りを通して広報し、全教員で実践してまいります。

【質問14】 学校は、教職員の働き方改革をすすめていると思われませんか。



【肯定68%】留守番電話や閉庁日の設定などの対応に加え、道徳授業交換を行うことで教材研究にかかる時間を短縮したり、あゆみの所見を個人面談に代えさせて頂いたりすることで働き方改革を進めています。教員が適切な休暇を取得し、過度な残業とならないようにすることで、教員が本分である授業準備に取り組む時間を設けたり、細やかに児童の様子を捉え指導に生かしたりすることに繋がると考えます。しかし、肯定68%ということなので、働き方改革の取組を積極的にお伝えし、来年度も働き方改革を進めてまいります。

